

社会科（公民的分野）学習指導案

授業者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇 〇 〇

1 日 時 平成22年11月〇日

2 学年・学級 第3学年〇組

3 単元名 「市場経済と金融」

4 単元設定について

(1) 教材観

新しい学習指導要領では、公民的分野における改訂の要点として、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を養う学習を進めるにあたり、「対立と合意」「効率と公正」などを取りあげ概念的枠組みを形成する学習が重視されている。

本単元は市場経済の仕組みを扱う。市場経済とは市場機構を通じて需給調節と価格調節が行われる経済のことである。つまり、需要と供給という相異なる考えが、市場という場で、価格を通して、合意形成し、均衡が保たれる。まさに「対立と合意」が、社会の仕組みとして存在していることを示す単元であると言える。

「効率と公正」についても、市場経済は、自由な経済活動を通して無駄を省く点で、効率的で公正な仕組みであると考えることができる。

ただ、近年の経済社会を見た場合には、店頭の価格が需要と供給のバランスから決定されている適正（効率的で公正）な価格であるとは言い切れない。

本単元では、「対立と合意」「効率と公正」を中心に扱い、生徒に今日の経済社会の特質と課題について考えさせたい。

(2) 生徒観

社会の見方、考え方を養う授業を目指す中で、考えたり調べたりする学習活動を多く設定することになりやすい。これに対して、本学級では、一部の生徒の積極的な発言により授業が展開されていくのではなく、「分からないこと」「疑問点」を共有し、共に解決していく学習習慣が身に付いてきている。特に、男女を問わず共に学習する習慣は、3年間の学校全体での取り組みの成果でもある。

ただ、社会科に係るキーワードだけでなく、一般的な語彙の乏しさを痛感させられる事もあり、日頃からの指導・支援も重要である。

(3) 指導観

生徒たちの疑問から探求が始まる授業をめざしたい。そして、一人でも多くの生徒が50分間の授業を通して学び続けることができることを大切にしたい。

そのために、授業者が一方的に説明し、指名した一部の生徒の発言をつないで授業を展開するのではなく、小グループを活用して探求させることにより、生徒が学び続けようとする授業をめざしている。

また、あえて「小グループを活用せざるをえない、高いレベルの学習課題」を設定している。

さらに、社会科は知識・理解を基盤としている教科であるため、前半で、ある程度、基本的な知識を理解させた上で学習を展開していく。つまり、生徒たちが基本的な知識を共有し、そこから学習問題を設定し、探求していく学習過程を構成していく。

なお、生徒同士が自分の言葉で社会的事象について語り合う中で、自己の解釈だけでなく、他者の解釈を聴くという活動を行い、生徒同士の学びが継続するように工夫したい。

5 単元の目標

- (1) 身近な消費生活から経済活動について考え、消費者としての自覚（消費者主権）を持つ。
- (2) 市場経済が自由競争により成り立っていることを理解し、消費者が商品を選択できることの意義について考える。
- (3) 家計の貯蓄等が企業の生産や生活の資金として循環していることを理解し、政府・日本銀行が今日の経済活動に不可欠なものであることを理解する。

6 単元の評価規準

社会的事象に対する 関心・意欲・態度	○ 消費者主権の役割について考え、個人や企業の経済活動について考えようとしている。
社会的事象に対する 思考・判断	○ 市場経済のしくみを理解し、価格の動向を予想している。 ○ 金融政策の大まかな内容を理解し、特に、公定歩合操作による、景気の変化を予想している。
資料活用の技能・表現	○ 生産の仕組みや市場で価格が決定する仕組みを図やグラフ等をもとにして説明している。
社会的事象に対する 知識・理解	○ 市場経済において、企業や家計が価格を考慮しながら生産・消費活動を行うことを理解している。 ○ 家計、企業、国（政府、日本銀行）が密接に関わりながら経済活動を行っていることを理解している。

7 単元の指導計画

- ① 市場経済のしくみ (1時間) 【本時】
- ② 市場と価格 (1時間)
- ③ 金融のはたらき (1時間)
- ④ 働く人たちの生活向上 (1時間)

8 単元の指導の評価の計画 (全4時間)

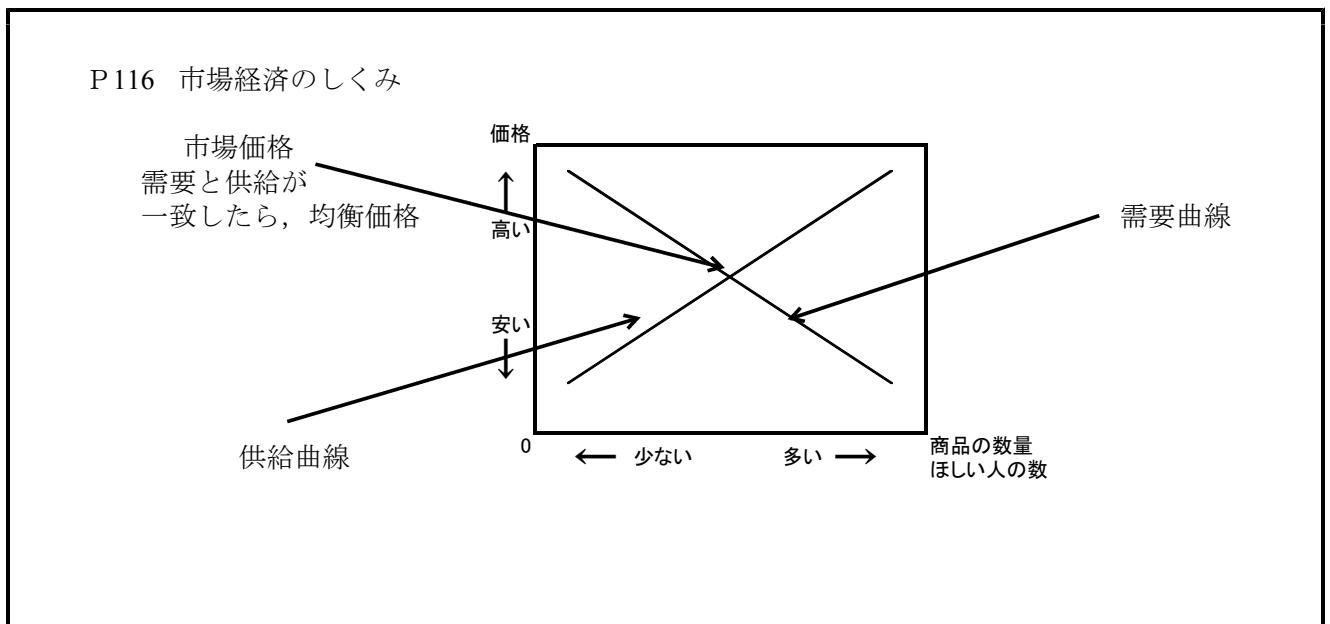
学習内容 (4時間)	学 習 活 動	評価規準・評価方法
① 市場経済のしくみ (本時)	・価格の決定には消費者と生産者の心理が影響し合っていることから、需要と供給のバランスにより決定していることを学ぶ。	・需要と供給の関係から価格の変動を予測できている。 【思考・判断】 ・授業中の発言、テスト、ノート(プリント)
② 市場と価格	・需要と供給の関係では決定していない価格について学び、政府による公共性の確保と独占禁止法の必要性について学ぶ。	・独占や寡占が生じることにより消費者の生活に影響がでることを指摘できている。 【思考・判断】 ・授業中の発言、テスト、ノート(プリント)
③ 金融の働き	・家計・企業・政府の間で資金が循環していることを理解する。 ・日本銀行の役割、特に金融政策（公定歩合操作等）について具体的に学ぶ。	・貨幣の量通の仕組みを通して金融の必要性を理解できている。 【知識・理解】 ・日本銀行の公定歩合操作を諸資料をもとに説明できている。 【技能・表現】 ・テスト、レポート、授業中の発言
④ 働く人たちの生活 向上	・労働組合を中心とした労働条件の改善の必要性について理解する。	・市場経済の原理だけでは国民の生活を保障できないことを理解する。 【思考・判断】 ・テスト、レポート、授業中の発言

9 本時の指導過程

	学習内容・学習活動	教師の指導・支援	評価規準・評価方法
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">この字型の座席配置</div> <p>① キュウリの入荷量と価格の関係をグラフから読み取る。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「キュウリの入荷量と価格の関係について、このグラフから読み取れることを答えましょう。」</div> <ul style="list-style-type: none"> ・入荷量が多いと価格は安くなる。 ・入荷量が少ないと価格は高くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自由に発言できる雰囲気をつくる。 ◎ 「この時間は価格がどのようにして決まるのか勉強しましょう。」 	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">基本的事項の共有 個人作業の共同化</div> <p>② プリントの用語などを小グループを活用してまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人で考えるだけでなく、周囲と相談しても良いことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに学びが成立している。 【関心・意欲】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「小グループにして、プリントをまとめてみましょう。」</div> <ul style="list-style-type: none"> ・市場・商品が売り買いされる場 ・需要量・商品を買おうとする量 ・供給量・商品を売ろうとする量 ・均衡価格・需要量と供給量が一致するときの価格 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小グループのなかで、学びに関わっていない生徒を他の生徒とつなぐようにする。 ○ 必要に応じて、資料集や用語集を活用させる。 ○ 小グループで解決できなかつたり、分からなかったことを全体の中で共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントをまとめることができ、基本的な知識として、活用できる体制ができている。 【知識・理解】
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">高いレベルの学習課題に挑戦</div> <p>③ 売り手（供給側）と買い手（需要側）の心理をグラフに表す。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「売り手（供給側）と買い手（需要側）の心理を直線を使ってそれぞれ表してみよう。」</div> <p style="text-align: center;">◎ 「これでは価格が決定しないね。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「どうしたら価格が決まるのかな？考えたり、調べて見て、図にして表そう。そして、その図の意味を説明してみよう。」</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料集や用語集等、諸資料をもとにして探求させる。 ○ 黒板に図を貼りだして、グループで考えたことを個人で発言させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給が一致することで価格が決定することを図を使って表現できる。 【技能・表現】

	学習内容・学習活動	教師の指導・支援	評価規準・評価方法
ま と め	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">ジャンプの課題に挑戦</div> <p>④ 価格の違いを需要曲線と供給曲線を使って説明する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給の関係から価格の変動を予想できる。 【思考・判断】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「なぜ、キュウリの価格が7月と1月では違うのか？この2本の線を使って説明してみよう。」</div> <ul style="list-style-type: none"> ・供給が増えると価格が下がり，供給が減ると価格は上がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が思考する時間をしっかり確保する。 ○ 説明を教師が加えるのではなく，生徒の思考をつなげるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給の関係を説明することができる。 【技能・表現】

10 板書計画



11 次時の指導過程（参考）

	学習内容・学習活動	教師の指導・支援	判定基準・評価方法
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> コの字型の座席配置 </div> <p>① 需要と供給の関係で価格が決定することを説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> なぜ、同じ仕事でも、昼間より夜の方が賃金が高いのか？ </div>		
	<p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> すぐに小グループ活動 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> コの字型の座席配置 </div> <p>全体場で説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動が成立していないグループへの支援（聴く・つなぐ・戻す） ○ 思考する時間を徹底的に確保し、生徒への介入を控えつつ、学びに関わらせる。 ○ 生徒が自分の言葉で語れるように、教師は聴く・つなぐ・戻すことに専念する。 	<p>時給の違いを説明することができる。</p> <p>【思考・判断】 需要曲線と供給曲線を使って説明できる。</p> <p>【技能・表現】</p>
展開	<p>② 商品の価格がすべて需要と供給のバランスにより決定しているわけではないことを説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> なぜ、電気料金は電力の需要が多い夏であっても価格は変わらない？ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自分の言葉で語れるように、教師は聴く・つなぐ・戻す。 ○ 生徒の状況によっては小グループ活動に切りかえる。 	<p>・公共料金など、国民生活に影響がある場合は政府が介入する必要があることを理解する。</p> <p>【知識・理解】</p>
	<p>③ 公共料金以外に需要と供給のバランスで価格が決定しないケースを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 他に、需要と供給の関係で価格が決まっている訳ではないと思われるものはないかな？ </div> <p>・このような市場を「寡占」という。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲料水の空き缶を数種類、用意しておく。 ○ 生徒からの意見を引き出すため、場合によっては周囲と相談させる。 	
まとめ	<p>④ 独占禁止法が制定されている理由をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 小グループ活動 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> なぜ独占禁止法は制定されたのでしょうか？ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「プリントにまとめましょう。」 ○ 学習活動が成立していないグループの支援をする。 ○ 資料集や用語集の活用について、必要に応じてグループごとに指導する。 	<p>・独占や寡占が消費者に与える影響を指摘することができる。</p> <p>【思考・判断】</p>